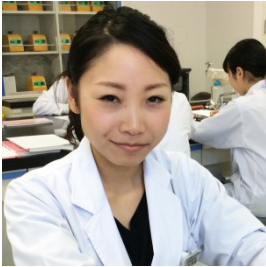


# 社会人から歯科衛生士をめざす！

口腔保健学科2年  
野村美智さん(26歳)  
入学前の仕事: 歯科助手



## < 歯科衛生士をめざす理由 >

歯科助手で働いていた時は、最初は覚えることが沢山あり、毎日必死でした。徐々に仕事を覚えていくと、歯科の仕事に楽しさを感じるようになりました。歯科衛生士さんの働きぶりや患者さんへ指導している姿が輝いて見えて、私もこうなりたい、もっと深く勉強したいと思い、進学を決意しました。

## < 社会人入学について >

IGL医療福祉専門学校は、社会人入学の学生も多いこと、車通学が可能なことなども、入学を決めるポイントになりました。少し不安だったのは、高校を卒業したばかりの学生たちとの雰囲気になじめるか、という点。実際には、同じ夢を持つ仲間として、試験前に教え合ったり、一緒に練習したり、励みにもなる心強い存在です。



## < 学生生活について >

好きな科目は、「診療補助」の実技。歯科助手の頃、アルジネートを練ったり、補綴物の調整のアシスタントにつくのが好きだったので、より深く実技を学べるのが楽しいです。試験前の勉強は暗記するものが多く、実技試験の練習時間も必要だし、ここまで大変だとは思いませんでした。試験の内容や評価が厳しいと感じることもありますが、先生方が基本から細かい部分まで指導されるので、就職後に役立つ「学び」だと思います。



## < 将来の夢 >

私には、憧れの歯科衛生士さんがいます。技術と知識を備え、患者さんからの信頼も厚くて、かっこいい方です。私も、そのような歯科衛生士をめざしています。将来、患者さんやスタッフの皆さんから信頼され、仕事を任せたいと思われる歯科衛生士になりたいです。

## < 社会人の皆さんへ >

歯科衛生士の仕事は、人手不足と言われています。昔の歯科とは違って、治療だけではなく、予防がメインになっている事から、歯科衛生士が必要とされています。求人も選べるほど多く、国家資格を取得すれば、一生困らない職業です。少しでも歯科に興味がある人は、ぜひ、一緒に歯科衛生士をめざして頑張りましょう。歯科は、知れば知る程、学ぶのが面白くなってきますよ。